

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ
Network Now
JART 情報
<https://www.jart.jp>

2024 No.588
12 / 1
発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519

Headline
from JART

2024年 JART
10大ニュース!!

1 第1回 日本放射線医療技術学術大会 (JCRTM2024) 開催される!

第1回日本放射線医療技術学術大会 (JCRTM 2024) が「ゆいまーる ～診療放射線技術の共創～」をテーマに、10月31日(木)から11月3日(日・祝)まで沖縄コンベンションセンターで開催され、成功裏に終了しました。開催期間中は台風が心配されましたが大きな影響もなく、2,500人を超える参加者が集いました。本大会は、日本放射線技術学会 (JSRT) と日本診療放射線技師会 (JART) が初めて合同で開催した学術大会であり、全国より診療放射線技師や放射線分野の専門家が多数参加し、技術の向上と未来の可能性について活発な議論が交わされました。本大会を開催するに当たり、多くの来賓の皆さまのご臨席に厚く御礼申し上げ、沖縄県放射線技師会の皆さまの多大なるご支援に心より感謝致します。



2 第564回中央社会保険医療協議会総会で上田会長が意見を述べる!

2023年11月15日(水)に第564回中央社会保険医療協議会総会が開催されました。「働き方改革について」において、本会上田会長が専門委員としての発言を議長から求められました。

上田会長は、「令和4年度入院・外来医療等における実態調査」のICTを活用した業務の見直し・省力化に関わる取り組み状況を問う施設調査資料内で、2割弱の医療機関にICTを活用した業務の見直し・省力化に関わる取り組みの回答が「特になし」となったこと、取り組みない理由を聞いた回答の上位にきていた課題が“導入と維持にかかるコスト”が挙げられていることなどを踏まえて、チーム医療を進める立場から発言されました。

中医協において、医療関係職種の代表として意見を述べたことは重要であり、議事録に発言が残る貴重な機会でした。今後も上田会長は中医協の専門委員として中医協総会に出席されます。



3 「診療放射線技師へのタスク・シフト/シェアに関するガイドライン」の公開について

このたび、診療放射線技師へのタスク・シフト/シェアに関するガイドラインを発表することとなりました。本ガイドラインは、日本医学放射線学会と日本放射線科専門医会・医会が中心となり、各医学会の先生方に協力を頂き作成されました。本ガイドラインを活用し、各医療施設で決められたプロトコルに沿って業務を行うことで、業務拡大に伴うリスクを低減し、安全にタスク・シフト/シェアの推進を実施されることを期待致します。



4 自由民主党 予算・税制等に関する政策懇談会に上田会長が出席する!

2023年11月2日(木)、自由民主党本部会議室で構成団体委員会および政務調査会厚生労働部会による「予算・税制等に関する政策懇談会」が開催されました。本会より要望として6項目を挙げ、意見交換をしました。

要望した内容は、①「報告書管理体制加算」の外来診療全

般へ対象範囲拡大 ②「医療画像表示用ディスプレイの医療機器化と管理」の評価 ③「小児等への腹部骨盤部単純X線検査被ばく説明」の生殖腺防護のための鉛シールド使用廃止対応への評価 ④災害時の診療放射線技師の病院外活動、CT撮影の明確な活動根拠の制定 ⑤診療放射線技師定数配置基準の策定要望 ⑥在宅医療充実のための体制整備として診療放射線技師への介護支援専門員受験資格付与要望——となっています。

国会議員各位から、多くの質問や意見を頂きました。

5 第87回公益社団法人日本診療放射線技師会定時総会 開催される

2024年6月15日(土)、第87回定時総会が日本診療放射線技師会事務所会議室でWeb会議システムを併用して開催されました。

報告事項は、令和5年度事業報告、決算報告、監査報告、ならびに令和6年度事業計画、予算について、執行部・監事から報告がありました。

審議事項は、「会費等納入規程改正(案)」「入退会等に関する規程改正(案)」が審議の結果、いずれも賛成多数で承認されました。「令和6・7年度 役員選任」では、定款第27条ならびに役員選任規程に基づき、立候補者の届け出が受理された候補者25人(地域理事8人、会員外理事3人、全国理事14人)、監事3人について、いずれの候補者も信任多数で選任されました。第2回理事会で上田克彦会長、富田博信、児玉直樹、江藤芳浩副会長、江端清和業務執行理事が新たに選任されました。

6 第5回ラジエーション知識を普及させ安全利活用を推進する議員連盟 開催される

2023年11月13日(月)、衆議院第一議員会館会議室で第5回ラジエーション知識を普及させ安全利活用を推進する議員連盟が開催されました。ラジエーション議連会長の田村憲久衆議院議員と事務局長の畦元将吾衆議院議員の進行で、日本認知症学会理事長の岩坪威先生の「日本の認知症診断・治



療を推進するための提言(案)」の取りまとめに関する謝辞の読み上げの後、9つの項目からなる提言案について意見交換がなされました。1時間にわたって熱のこもった議論が交わされ、提言案については畦元議員による取りまとめの後、提出されることになりました。

大きな会議室に省庁からの関係者やマスコミが詰めかけ、アミロイドPETの推進や早期認知症介護への対策についての提言案の議論に耳を傾け、時折、関係の省庁に説明が求められる場面もありました。

7 無料コンテンツ配信開始される!

JART会員限定無料コンテンツ ネーミングが決定しました。本コンテンツのネーミングには128件もの多くの素晴らしいアイデアの応募がありました。

厳正な審査の結果、2024年度第4回理事会において、福島祐平さま(福井県)の提案された「JART Plus」というネーミングが、今後のコンテンツの充実を最も期待できるネーミングとして選ばれました。

「JART Plus」は、JARTのサービスに新たな価値が加わることを象徴し、会員の皆さまにとって、より豊かな情報やサービスを提供していくという私たちの決意を表しています。JARTの無料コンテンツはさらなる発展を遂げ、会員の皆さまにとってより一層魅力的なものとなることと思います。



8 ISRRT World Congress 2024 Hong Kong 開催される

2024年6月7日(金)から9日(日)までの会期で、The International Society of Radiographers and Radiological Technologists World Congress (ISRRT世界大会)が香港のHong Kong Convention and Exhibition Centre



で開催されました。

6月6日(木)にはISRRTアジア・オーストラレーシア地域会議、ISRRT評議員会がハイブリッドで開催され、日本から児玉副会長がISRRT理事として、上田会長が日本診療放射線技師会会長として出席しました。評議員会では暫定加盟団体の正式加盟問題や次々回となる開催地の検討が行われ、2028年はフランスのニースでの開催が承認されました。

日本からは、口述発表4演題、ポスター発表1演題の発表がありました。

9 令和6年能登半島地震における本会の対応について

2024年1月1日(月・祝)に発生した能登半島地震により犠牲となられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

このたびの災害においては、多くの医療従事者が支援活動を実施しており、本会からは1月29日(月)から2月9日(金)までの12日間に、合計8人の支援技師を公立穴水総合病院に業務支援のために派遣し業務支援を行いました。また激甚災害に指定されたことから、本会会員の人的被害および主として居住する家屋の損壊に対する支援を目的とした義援金を、1月24日(水)から4月30日(火)まで募集しました。

第87回定時総会では、石川県診療放射線技師会 森下毅前会長から、令和6年能登半島地震に対する本会からの支援についてお礼が述べられました。

今回の被災者の会費免除と義援金については、被災者40人に義援金を配布し、会費免除申請者39人に本年度会費を免除することが第1回理事会で決定しました。

10 第45回「医療放射線の安全利用」フォーラム 開催される

2024年2月10日(土)、第45回「医療放射線の安全利用」フォーラムがWebで開催されました。

今回は「タスク・シフト」にフォーカスが当てられました。現在、診療放射線技師法の改正により、放射線科医から診療放射線技師へのタスク・シフティングが具体的に進められています。これを受け、日本医学放射線学会などの放射線医学関連学会と日本診療放射線技師会が共同で、円滑なタスク・シフティングのためのガイドラインを作成しました。この中から、患者と放射線診療従事者の被ばく管理に関係する部分について抽出し、臨床現場での実運用での注意点について検討しました。

基調講演として「放射線診療におけるタスクシフト関係ガイドラインの概略紹介」の講演があり、続くパネル討論では、「タスクシフト実施と放射線安全」のテーマで4講演と総合討論を行いました。

令和6(2024)年度中間監査 実施される(ハイブリッド開催)

2024年10月23日(水)午後2時より、本会事務所とWeb参加によるハイブリッド形式で、小川清監事と中村勝監事を迎え、令和6(2024)年度中間監査が開催されました。

初めに、上田克彦会長から本年度の事業総括が説明され、現状について報告が行われました。その後、園田優理事より上半期の庶務報告および各種委員会・分科会の活動状況について説明がありました。監事からは、各会議の議事録の適正管理について指摘があり、その後、園田理事と江端清和業務執行理事から事業報告および会計報告について、事業項目ごとに詳細な説明がなされ監査が行われました。

監事からの意見は、以下の各項目に関するものでした。

- ・「ラダーの活用状況、コンテンツの整備・更新・管理」
- ・「第1回日本放射線医療技術学術大会の評価と検証」
- ・「会員情報システムの更新時期を見据えた学会・教育等のシステム連携、および事務職員の省力化に向けた最適化」
- ・「ワクチン接種講習会および今後の戦略」
- ・「会計項目の適正化」



最後に、監事による講評が行われ、「JART Vision 2040」のPDCAサイクル実施と定期的な報告と放射線業務外への拡大、病院外の業務拡大の検討」「医療情報セキュリティ分野への業務拡大」「関係団体・組織との連携」「アンケート回収率向上の検討」「事務職員の定着」についての意見が寄せられました。質疑応答は約3時間にわたって行われ、活発な意見交換がなされました。

2024年 秋の叙勲受章者 —おめでとうございます—



旭日双光章	上前 忠幸(神奈川県)	中澤 洋治(茨城県)		
瑞宝双光章	赤堀 正和(長野県)	石井 靖人(東京都)	上野 時男(岩手県)	長田 智貴(長崎県)
	喜田 美千代(徳島県)	栗田 幸喜(埼玉県)	篠原 健一(東京都)	二ノ宮 正史(北海道)
	林 康之(千葉県)	向原 洋(島根県)		
瑞宝単光章	清水 操(兵庫県)	森本 康代(徳島県)		(敬称略・順不同)

INFORMATION

STAT画像所見報告学習システム開設について

平素より会務にご協力いただきありがとうございます。

このたび、STAT画像報告委員会では、「生命予後にかかわる緊急性の高い疾患の画像(STAT画像)所見報告ガイドライン」に準じ、公益社団法人日本医学放射線学会ならびに日本放射線科専門医会・医会の監修の下、「STAT画像所見報告学習システム」を開設しました。

臨床では本教材で示したものより、判断が難しい症例に遭遇することも多いと想定されますが、今回の教材ではVer.1として典型例のみを提示しました。学習の順番は各自の経験に応じて自由に選択していただけますので、ぜひご活用ください。

■ STAT画像所見報告学習システムの利用方法

- ・日本診療放射線技師会のホームページから「JART情報システムログイン」よりログインし、マイページに入ってください。
- ・JART Plus(JART会員無料コンテンツ)から、のアイコンをクリックしてください。
- ・「STAT画像所見報告学習システム」に入りましたら、まずは「はじめにお読みください」「Viewerの使い方」をお読みください。
- ・ご覧になりたい「XP」「CT」「MRI」を選択してください。
- ・領域ごとに症例がアップされていますので、「DICOM画像」「疾患名・解説」をご覧ください。

(STAT画像報告委員会 委員長 木暮 陽介)

INFORMATION

2024年度 放射線治療分科会主催生涯教育セミナー（治療計画・実践編）[大阪府] 開催報告

放射線治療分科会 委員 佐藤 清和（東北大学病院）

2024年10月5日（土）・6日（日）の2日間のスケジュールで、森ノ宮医療大学（大阪府大阪市）で『「乳がん」術後放射線療法～治療計画から照射までの実践～』をテーマに、生涯教育セミナーが開催されました。

本セミナーは、乳がんの治療計画から照射までの一連のプロセスに必要な基礎知識・スキルを体系的に学ぶことを目的としました。参加者10人に対して、1人につき治療計画装置1台を使用する実習型の講習会としました。

初めに、適切な治療計画を行うために必要な臨床的・物理的な基礎知識について解説しながら、治療計画装置の基本操作について演習を行いました。次に、「乳がん術後放射線療法における治療計画の実践」という内容で、乳がんの臨床や治療戦略、照射範囲の設定およびビームアレンジメントなど、具体的な治療計画のTipsも解説しながら、受講者がそれぞれ治療計画を作成しました。また治療計画におけるエラーが放射線治療全体におけるインパクトも大きいことから、エラーを含んだプランのチェックを実践し、広島大学病院の中島健雄先生からプランチェックの重要性についての講義を含め、治療計画に関する理解を深めました。さらに森ノ宮医療大学の奥村雅彦先生にバーチャル放射線治療システムの概要を解説いただき、照射模擬演習を行いました。ここでもいくつかのエラーを



集合写真

含めた治療計画を読み込み、グループごとにエラー内容を確認しながら、仮想的に放射線治療装置を操作する演習を行いました。最後に、事前アンケート結果を基に、各施設の取り組みや運用方法に関する情報共有、治療計画に関する質問などに回答しながら議論を行いました。演習を多く行うことで、乳がんの治療計画から照射までの一連のプロセスについて理解が深まったものと考えます。また参加者からは事後アンケートによって高い評価を得ており、今後も内容をアップデートしながら、さらに発展したセミナー開催を目指します。

本セミナーにご参加いただいた方々、会場準備および照射模擬演習にご協力いただいた奥村先生、プランチェックに関する講義を頂いた中島先生、本セミナー開催にご尽力いただいた関係各位に、心からお礼を申し上げます。



受講風景（講義）



受講風景（実習）



修了証授与

2024年度 公益社団法人日本診療放射線技師会 北海道地域学術大会 開催報告（ハイブリッド開催）

一般社団法人北海道放射線技師会 吉川 由紀

2024年10月19日（土）・20日（日）の2日間、札幌医科大学臨床教育研究棟講堂で北海道地域学術大会をZoomウェビナーを併用して開催致しました。参加者は、1日目：現地70人、Web103人、2日目：現地52人、Web88人でした。残念ながら、両日とも非常に悪天候の中での開催となりました。

1日目は、一般演題発表11題、ミニシンポジウムを行いました。一般演題発表では日本診療放射線技師会より学術奨励賞1演題、北海道放射線技師会から特別賞1演題を選考し表



彰しました。ミニシンポジウムではテーマを「認知症の画像検査」と題し、新しく認可されたアルツハイマー型認知症治療薬を使用した治療において重要な検査であるMRIとRIについて、札幌医科大学附属病院の中西光広先生、旭川医科大学病院の宇野貴寛先生にご講演いただき、総合討論では活発な意見交換が行われました。



2日目は、北海道放射線技師会 整形外科領域部会（HONET）企画の「明日から実践！ 整形外科領域の画像検査 ～上肢編～」をテーマに、肩関節・肘関節・手関節のそれぞれ基礎編・臨床編を6人の部会員に基本的な撮影方法、撮影のコツや修正ポイント、撮影補助具の作成方法など、非常に分かりやすく丁寧にお話ししていただきました。整形撮影の奥深さを実感することができ、まさしく「明日から実践！」という内容でした。

今回、大会初の試みとして、参加された会員の皆さまの交流を図るべく懇親会を企画致しました。本大会同様、こちらも非常に盛り上がっていました。

今後も多くの会員、特に若い世代の会員や学生にも気軽に参加していただけるような企画・運営、広報活動を行ってきたいと思います。

第14回東北放射線医療技術学術大会 (TCRT2024) 開催報告

公益社団法人日本診療放射線技師会 令和6年度東北地域学術大会
公益社団法人日本放射線技術学会 東北支部 第62回学術大会

公益社団法人秋田県診療放射線技師会
会長 川又 渉

2024年10月5日(土)・6日(日)の2日間、秋田市にぎわい交流館AU(“あう”)において、第14回東北放射線医療技術学術大会(令和6年度東北地域学術大会と東北支部第62回学術大会の合同開催)が開催されました。来場者数は延べ430人を超え、企業展示、実行委員も合わせると、館内定員をオーバーしているのではないかと思います。Web参加を合わせると、延べ520人を超える参加となりました。

今年の開催テーマは、「The Great Reset of Radiological Technology ～未来への創造～」であります。これは、先人たちが培ってきた技術・知識・経験から多くのことを学び、これからの未来に向け、これらの遺産をいかにして持続させ、研究を進め、新しい技術を開発し、それを持続可能な未来として実現していくかを真剣に討論し、考える大会にしたいという思いが込められております。一般演題数は98演題、企画セッションは20、さらに特別講演などを2日間に凝縮して開



実行委員一同



第一会場のコマ



日本診療放射線技師会 江藤芳浩副会長

催しました。

1日目の特別講演では、秋田大学高齢者医療先端研究センター長・教授の大田秀隆先生に「認知症」に関する最新の話題をご講演いただきました。その後の実行委員会企画1では、臨床心理士の観点から認知症診断に関する神経心理検査の実際について学び、続いて各モダリティ別に認知症の画像診断について学びました。2日目は、JART・JSRT合同企画による「検査説明の実際と取り組み」、さらに実行委員会企画2として「診断参考レベル2025への期待と課題」について討論が行われました。また機器展示会場でもにぎわいを見せていました。

本大会を通して、大きなトラブルもなく無事終えることができたのは、照井正信大会長、加藤守実行委員長をはじめとする実行委員の皆さま、共催いただきました両団体関係各位、

協賛いただきました企業の皆さま、参加された会員のおかげであります。この場をお借りして、お礼を述べさせていただきます。

第20回中四国放射線医療技術フォーラム (CSFRT2024) 開催報告

第32回公益社団法人日本診療放射線技師会 中四国診療放射線技師学術大会
第65回公益社団法人日本放射線技術学会 中国・四国支部学術大会

公益社団法人岡山県診療放射線技師会
会長 高尾 渉

2024年10月19日(土)・20日(日)の2日間、岡山県岡山市の岡山コンベンションセンターにおいて「第20回中四国放射線医療技術フォーラム(CSFRT2024)」が開催されました。本大会は、「第32回公益社団法人日本診療放射線技師会中四国診療放射線技師学術大会」と「第65回公益社団法人日本放射線技術学会中国・四国支部学術大会」との合同開催です。中四国放射線医療技術フォーラムは2005年に第1回が開催され、今回で3巡目を迎えました。本学会では、今後の社会情勢の変化を背景に、10年後・20年後の診療放射線技師の未来を展望し、現時点で何をすべきかを考える機会として、「Shift Change—医療の価値を考える—」をテーマに選びました。学会参加者数は704人(会員601人、非会員39人、学生64人)となり、多くの方々にご参加いただき、盛況のうちに終了しました。

プログラムは一般演題167演題をはじめ、JART副会長講演、JSRT代表理事講演、特別講演、モーニングセミナー、ランチョンセミナー、国際化企画、シンポジウム、市民公開講座など多岐にわたりました。また企業協賛として33社の展示および22社の広告協賛を頂き、学会運営を支えていただきました。

JSRT代表理事の石田隆行氏による「放射線技術学の進歩発展のために」の講演に続き、JART副会長の江藤芳浩氏による「将来を見据えたJART事業の在り方」の講演が行われました。シ



ンポジウムでは「放射線医療の『Shift Change』に向けて」をテーマに議論が展開され、小野孝二先生より「人口減少に伴う医療分野への影響について」のご講演を頂き、それを受け、各モダリティの専門技師の方からも今後の画像検査についてご講演を頂きました。市民公開講座では、株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブオーナーの木村正明氏が「逆境への挑戦〜誇りを持って地域と生きる」をテーマに講演され、チーム創設時の苦労や「変化を恐れずに進むことの重要性」について語られました。

最後に、今回のフォーラムが成功裏に終えることができたのは、多くの診療放射線技師の皆さまのご参加と協賛企業のご支援と、この大会の運営を支えていただいた実行委員の皆さまのおかげです。心より感謝申し上げます。



JSRT代表理事 石田隆行氏



JART副会長講演 江藤芳浩氏



市民公開講座 木村正明氏



機器展示



第1回

第41回日本診療放射線技師学術大会

福井への道 Go To FUKUI

大会長 村中 良之

(公益社団法人福井県診療放射線技師会 会長)



INFORMATION

学術大会開催のお知らせ

第41回日本診療放射線技師学術大会を2025年9月12日(金)から14日(日)までの3日間、福井駅前のAOSSAを中心に、能舞台にも使われる施設やプラネタリウムにも使われるドームシアターなど、複数の会場を使って開催致します。

大会テーマは、日本診療放射線技師会のスローガン「期待される診療放射線技師の役割に応えよう」の下、サブタイトルとして「放射線技術のイノベーション」とし、福井にお迎えすべく準備を進めております。「イノベーション」とは、技術的な革新により社会に新しい価値を生み出す取り組みという意味があり、私たちが専門知識でいかに社会に貢献できるかを探求します。医療だけではなく、原子力災害時の放射線管理などにも焦点を当てます。そして2024年1月に能登半島で発生した地震は、私たちにとって大きな試練であり、診療放射線技師としての役割の重要性を改めて認識する機会となりました。この経験を踏まえ、災害時の緊急対応についても議論を深めたいと思います。特別講演やシンポジウムなどはまだ決まっていますが、魅力のある内容を福井県の実行委員会メンバー中心に検討しているところです。また福井県のPRキャッチコピーである「地味にすごい、福井」をアピールできる学術大会にしたいと考えています。

本大会でもオンデマンド配信を行いますので、遠方からの参加や、スケジュールの都合で会場に来られない方々も、講演などをご覧いただけます。より多くの方々にとって有益な学びの機会となることを願っております。

2024年3月に北陸新幹線が福井まで延伸し、関東からのアクセスがとて良くなりました。福井県の豊かな自然と歴史に囲まれたこの地で、恐竜博物館や一乗谷朝倉氏遺跡の探訪、大本山永平寺の静寂、東尋坊や若狭湾の絶景、そして越前がに・おろしそば・ソースカツ丼などの地元グルメをお楽しみいただきながら、充実した交流の場を提供できると思います。土曜日の情報交換会も福井ならではの企画を検討中です。



皆さまの積極的な参加と、熱意ある議論により、この大会を成功に結び付けたいと考えております。どうぞこの機会を最大限に活用し、有意義な時間をお過ごしいただければ幸いです。多くの皆さまの演題登録とご参加をお待ちしています。





第41回

41st Japan Conference of Radiological Technologists
日本診療放射線技師学術大会放射線技術の
イノベーション〜期待される診療放射線技師の
役割に応えよう〜2025.
9/12(金)▶14(日)会場 | AOSSA、ハピリン他
[現地＋オンデマンド配信]<https://www.kwcs.jp/jcrt41/>会長 | 上田 克彦 (公益社団法人
日本診療放射線技師会 会長)大会長 | 村中 良之 (公益社団法人
福井県診療放射線技師会 会長)

主催：公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催：公益社団法人 福井県診療放射線技師会

後援：厚生労働省、公益社団法人 日本放射線技術学会、
(予定) 福井県、福井市大会事務局 | 公益社団法人福井県診療放射線技師会
〒910-0851 福井県福井市米松1丁目16-31 NTビル2階
TEL : 0776-57-0696 FAX : 0776-57-0699
E-mail : 41jcrt@gmail.com

「もの」「こと」の価値

シリーズ連載
series serialization

五感 — five senses

高品質のブランド品は、品質の良さに加えてブランドの付加価値が付けられ、高価格で販売されています。一方、国内ではブランド品ではなく一般的な量産品（電化製品・衣服・食品など）であっても高品質なものが多く、規格基準に準拠した安全性の高い品や、高品質（性能・味・デザイン）の製品・食品・衣服がこちらの店舗で販売されています。こうしたブランド品に限らず、高価なものや生活必需品などの一般的な買い物とき、皆さんは何を重視して買い物をしていますか。一般的な生活必需品を買うときと、値段の高い高価なものを買うときとで、同じ価値観や感情で買い物をしていますか？ おそらく生活必需品の買い物は、買い物のしやすさ、少しでも安いお店、近距離などとなるのではないのでしょうか。では、欲しいものが決まっている場合、値の張る電化製品や車などを買うとき、最終的に何を重視していますか。こうして改めて問われると、普段は意識していないかもしれませんね。

私は、先日テレビが故障して、買い替えのために大型量販店を回りました。今より大きくて薄くて、契約有料動画コンテンツが簡単に見られるという条件でしたが、どこでも取り扱っており、値段も同じようなものです。しかし、お店の対応は三者三様でした。家から10分も行けば買えるのに、最終的には1時間離れたお店で買うことになりました。そのお店は3店舗のうち2番目に回ったお店でしたが、3店舗回って2番目に行ったお店に戻ってまで買うことにしました。そう決断した理由は「店員さんの感じ

の良さ」でした。対応の良さ、物腰の柔らかさ、こちらの要望に対する傾聴の仕方、関西人特有の値段交渉への対応などなど、実際に欲しい物はどこで買っても一緒でしたが「この店員さんなら買ってもいいな」という新たな価値が足されて、買うか否かの判断をしていました。結果的にテレビ以外に炊飯器・掃除機まで買い替える羽目になりましたが、損をした気分にはならず、気持ちの良い買い物をしたという気分でした。これが営業力なのか……と後から気付いたのです。

本邦の人口減少が進む中、AI機能を用いて人に置き換わろうとする仕組みやシステムが利用され便利になってきている中、大きな支出の買い物や、手術や治療の選択をしなければならない自分の命に関わることなど、自分にとって重要な判断をしなければならないときは、「もの」や「こと」の価値に加えて、それらを提供してくれる側（会社・病院・人）に対する信頼という付加価値が、今まで以上に重要視されてくるのではないのでしょうか。

医療を提供するわれわれは、AI機能により業務が簡素化され便利になってきていますが、患者さんや家族へは、便利になってきた時間を信頼に使う必要があるかもしれません。仮に医療を提供する対象が動物であっても、その飼い主への信頼が必要であり、対象が人であれば、その人や家族への信頼であり、提供する側の人として付加価値を感じてもらえるような医療者でありたいと思います。（文責：川守田 龍）

12月・1月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

- 放射線取扱主任者定期講習 : 東京 2024年12月20日(金)
- 放射線治療分科会生涯教育セミナー(治療計画・実践編) : 東京 2024年12月21日(土)・22日(日)
- 認定資格試験 : 全国のCBTテストセンターのパソコンで試験を実施
(テストセンター一覧: <https://cbt-s.com/examinee/testcenter/>) 2025年1月17日(金)まで
- 画像等手術支援認定診療放射線技師資格試験 : 全国のCBTテストセンターのパソコンで試験を実施
(テストセンター一覧: <https://cbt-s.com/examinee/testcenter/>) 2025年1月17日(金)まで
- ディスプレイの精度管理セミナー : Web開催 2025年1月18日(土)
- マネジメント研修会 : マネジメントラダーLv3/Lv4-2 : 東京 2025年1月18日(土)
: マネジメントラダーLv4-1 : 東京 2025年1月19日(日)
- 画像等手術支援分科会ハンズオンスキルアップセミナー(中級から上級) : 東京 2025年1月19日(日)
- 災害支援認定診療放射線技師講習会(実技研修会) : 兵庫 2025年1月19日(日)
(実技研修会の参加には事前e-ラーニング学習の視聴が必須となります。下記【e-ラーニング(ストーリーミング方式)】の※を参照ください。)
- 超音波実技講習会「腹部領域」 : 東京 2025年1月26日(日)
- 告示研修(実技研修)／業務拡大に伴う統一講習会／診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース(会場型) :
本会ホームページの「新着情報・お知らせ」またはJART情報システム(JARTIS)をご参照ください。

【e-ラーニング(ストーリーミング方式)】

- 告示研修(基礎研修) 2026年3月31日(火)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。
- 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針
オンラインセミナー 2027年3月31日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日からセミナー終了まで何度でも視聴いただけます。
- 医療放射線安全管理責任者講習会 2024年12月20日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2025年1月26日(日)まで何度でも視聴いただけます。
- 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理
のための研修(在宅) 2024年12月20日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2025年1月26日(日)まで何度でも視聴いただけます。
- 認定資格の取得を目指す在宅講習受講生の募集・ラダーレベル3 2024年12月20日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から各認定資格試験終了日前日まで何度でも視聴いただけます。
- 認定資格失効者講習会(在宅) 2024年12月20日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2025年1月26日(日)まで何度でも視聴いただけます。
- 災害支援認定診療放射線技師講習会(事前e-ラーニング学習)※ 2024年12月22日(日)まで申し込み受け付け
※視聴期限は2025年1月18日(土)まで。なお、視聴可能日は別途お伝えします。
※実技研修会は2025年1月19日(日)。

- オンラインセミナー(在宅) : 本会ホームページの「新着情報・お知らせ」またはJART情報システム(JARTIS)をご参照ください。

※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

事務局
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。